H28 アクションプラン　上半期の振り返りと今後のアクションシート　事業№42

①事業の基礎情報

事業名		障がい者の地域生活応援事業					担当部・グループ名		福祉部　地域福祉グループ 介護保険・障がいグループ		
実施期間		平成 26 年度～平成 29 年度					担当 GL 氏名		木村　忠好・竹内　正夫		
新規・継続の別		**継続事業**					電話番号(内線)		52-9871(内線 8019,8014)		
総合計画（基本計画）体系	個別目標	(10)一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます					予算書上の予算・事業名	款	3款　民生費		
								項	1項　社会福祉費		
	こんなことに取り組みます	障がい者が地域の中で交流できる場や活動機会を創出します。						目	3目　障害者在宅・施設介護費		
								事業名	2　地域生活支援事業		
							総合戦略		■該当する　□該当しない		
	みんなで目指すまちづくり指標名	―									
		現状値(H25)	―	実績値(H26)	―	実績値(H27)	―	実績値(H28)		目標値(H29)	―	(単位)%

②事業の概要

目的 （何をどうするために）	★障がい者への効果的な就労促進策を実施することで、一般就労に向けての意欲と能力を高めるとともに、継続して就労できるようにする。 ★障がい者及びその家族が地域で生活しやすいように、必要な制度や拠点（居場所）づくりを推進する。 ★障がい者と地域住民が共に交流できる場や活動できる機会を作るなど、「障がい」と「障がいのある人」について十分に理解を深め、共生社会の形成を促進する。		
対象(誰・何を対象に)	障がい児・者	対象の数量	1,930 人
最終目標 （最終的に何がどうなれば達成か）	☆障がい者が、意欲と能力と適正に応じて、生きがいと希望を持って働いている。 ☆障がい者の地域活動の機会が、ライフステージに応じて、地域組織、当事者団体、サービス事業者が協働し創出されている。 ☆「障がい」と「障がいのある人」について、交流の場や活動機会を通じて理解が深まっている。		

③事業にかかる事業費概要

平成 28 年度（当初予算額）				主な内容
事業費総額（千円）			32,389	・障がい者地域生活総合支援業務委託料　31,910 千円 ・自発的活動支援事業費補助金　479 千円
財源内訳	一般財源		22,064	
	特定財源	国・県支出金	10,153	
		その他	172	
補助事業・単独事業の別			補助事業	

④上半期の進捗状況（目標の達成に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どのように・どうした　※箇条書きで記載する	いつ（年月）	アウトプット
実施内容	①就労支援会議に就労支援部会及び雇用モデル検討チームを設置し、市内企業での雇用に向けた検討を始めた。	H28.4	部会：４回 検討チーム：3回
	②市内ＮＰＯ法人の居場所・放課後活動支援がスタートした。	H28.4	箇所数：１か所
	③障害者差別解消法の講演会を実施した。（職員、事業所等）	H28.7	参加者：148 名
	④福祉実践教育及び健康自生地フェスタで障がいの理解及びボッチャの普及活動を行った。	H28.7,8	港小：78 人 フェスタ：50 人
進捗状況	当初に掲げた計画どおり、順調に進んでいる。		
参画・協働・情報共有の工夫	★ボッチャの普及啓発を、障害者団体やまち協などで構成する普及連絡会を中心に、学校などとも協働して実施した。		
実施内容に対する成果（事業の自己評価）	☆障がい児の放課後の居場所や活動の場が確保された。		
	☆障がいのある人やそのスポーツの理解が深まった。		

⑤課題と今後の取組みの方向性（上半期を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
（１）今後の居場所の創出 ・現在の居場所の実施主体である市内ＮＰＯ法人がサービス提供事業所を開設することになったため、現在の居場所がなくなる。次なる居場所を検討する必要がある。	・次なる居場所の創出に向け、障害者自立支援協議会などで検討する。 ・検討にあたっては、多世代交流・多機能型を視野に入れる。

⑥課題解決に向けた下半期の具体的なアクション（案）

	何を・どのように・どうする　※箇条書きで記載する	いつまでに（年月）
実施内容	①市内企業で障がい者を雇用するため、雇用モデル検討チームで検討する。	H29.3
	②福祉実践教室でのボッチャの普及啓発とボッチャ競技大会を開催する。	H29.3
	③当事者団体等が主催となり「障がい」に関する勉強会を実施する。	H29.3
	④障害者地域自立支援協議会など各種会議の活動報告会を開催する。	H29.3
	⑤次なる居場所について検討する。	H29.3
参画・協働・情報共有の工夫	★就労支援策の検討は、当事者が参画する就労支援会議で行う。	
	★ボッチャの普及啓発は、障害者団体やまち協などで構成する普及連絡会で検討する。	

特記事項	